

県育成会近況

発行:R4.12.2

12月に入り、冬らしい気温になってきましたが、長期予報では今年の冬は暖かいようです。ただ、依然としてコロナ禍は続いています。インフルエンザとの同時流行も懸念されますが、会員の皆さまには健康に十分留意され、年末年始を迎えられることを願っています。

さて、県育成会の取り組みとして

① 関プロ栃木大会の準備



今年度、県育成会の取り組みの重点である関プロ栃木大会の準備の一環として、10月22日(土)に開催された第56回長野大会に県役員等10名で参加してきました。天候に恵まれ本人参加イベントを含めて次年度の準備に向けて大会の運営や会場の様子など視察を行いました。それを基に11月24日(水)の関プロ栃木大会第3回運営委員会において視察状況を報告しました。

② カルフル(障害者文化祭)

3年ぶりのカルフルが11月18日(金)に開催され、県育成会はお茶やクロス、本などを販売しました。コロナの影響で規模を縮小して平日の開催でしたが、多くの方が来場されて盛況でした。宇都宮市育成会の安部さん、森屋さんにご協力をいただきました。



③ 本人部会ひまわりの会

全育連福井大会の本人大会が9月19日(月)と10月9日(日)の両日、オンラインにより開催され、齋藤さん、木村さん、沓澤さんが参加して、全国大会のスローガンや本人決議文を検討しました。少し緊張している様子でしたが、それぞれ自分の意見を言うことができました。



相談会・研修会事業の開催

今年度の県委託事業である相談会・研修会を以下のとおり実施することができました。開催地区事務局など関係の皆さまには、ご協力いただき大変お世話になりました。

☆佐野市では、10/25(火)とちのみ会地域交流ホームにおいて、あゆみ園の牧子晃那さんを招いて「きょうだい支援について～きょうだいにお話を聞いてみよう～」と題して、きょうだいの気持ちのことやきょうだいのための活動のことなどのお話をいただきました。



☆小山市では、11/9(水)小山市中央公民館において、小島会長を講師に「我が事として考える知的障害の人の高齢期(千の風になった思いで)」と題して、子の高齢に係る制度面のことや成年後見制度、住まい、そして医療のことなどご自分の体験も含めてお話を聞くことができました。



☆上三川町では、11/15(火)上三川町いきいきプラザにおいて、(社福)同愛会の菊地月香さんを招いて「これからの暮らしを考える」と題して、同愛会での取り組みや親なき後のことなど具体的な事例を含めこれからの暮らしについてお話をいただきました。



☆市貝町では、11/27(日)市貝町保健福祉センターにおいて、ハイブリッド形式で開催しました。講師に作業療法士の仲田海人さんを招いて「ヤングでは終わらないヤングケアラー」と題して、ご自身の体験を含めヤングケアラーのことや相談の取組、ネットワークづくりなどのお話をいただきました。



今後の予定

① 令和5年度の委託事業・補助事業の希望調査

明年1月中旬に上記調査を行う予定です。

② 令和5年度の県育成会関係行事予定

- ・関プロ第1回実行委員会 4/27(木) 福祉プラザ
- ・会員総会 5/12(金) 福祉プラザ